

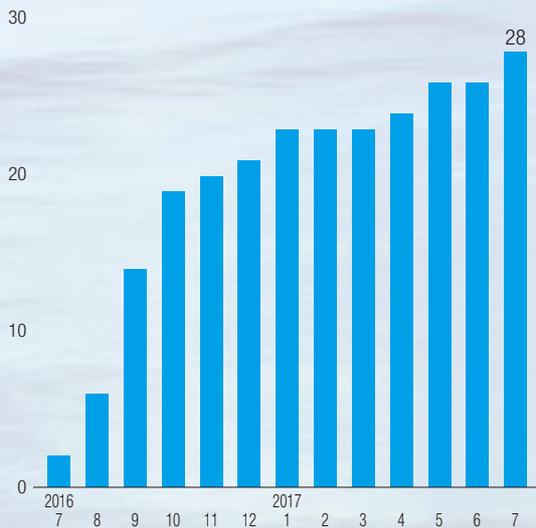
アジアにおけるブルー・オーシャン戦略

BLUE OCEAN STRATEGY

Jトラストグループは、アジアに際限なく広がる、競争相手があまりいない市場（ブルー・オーシャン）を攻めていきます。

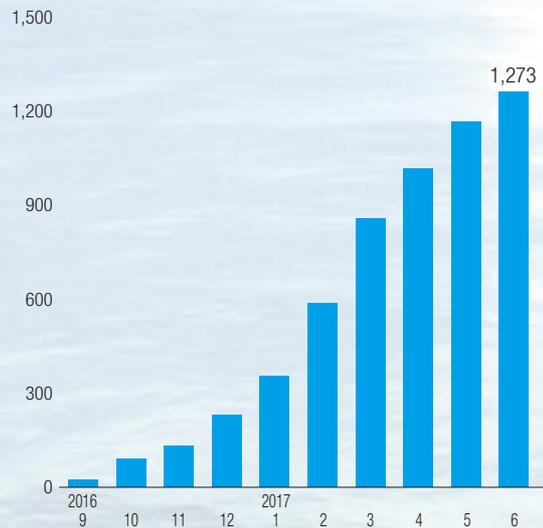
クボタの農機具を取り扱うPOS店舗数の推移

(単位：店)



GLFIを通じたBJIの融資残高

(単位：億ルピア)



農業の効率化の手助けを通じてインドネシアの経済発展に貢献

インドネシアでは、都会から遠く離れた田舎に展開するGLFIのPOS(Point of Sales)を通じてクボタの農機具の割賦販売金融事業を提供しています。GLFI関連のBJIの融資残高は順調に拡大しており、営業開始から1年弱の2017年6月現在で1,273億ルピア(約11億円)に増加しました。GLの割賦販売金融ノウハウとBJIのファイナンス機能を活用しているため、GLFIの審査は、お客様(農家)や農機具の販売代理店から、「融資決裁が早いので取引しやすい」と高い評価を得ています。今後も農業の効率化の手助けを通じてインドネシアの経済発展とお客様の生活水準の向上に貢献していきます。



マイクロファイナンスのノウハウをいち早く蓄積しインドネシア全土への展開を計画

世界銀行によれば、インドネシアでは人口の8割程度(約2億人)がマイクロファイナンスの潜在的な顧客であると言われていますので、大きな需要があることは想定していました。そこで、GLFIでは、2017年2月にスラウェシ島のPOSを使ってマイクロファイナンス*をトライアルベースで開始し、現在はマイクロファイナンスのノウハウをいち早く蓄積するために、6カ所のPOSにおいてサービスを提供しています(2017年7月時点)。ノウハウを蓄積し、最初にビジネスモデルを確立すれば、業容の大幅拡大につながると期待しています。

2006年にバングラデシュのグラミン銀行とその創設者がノーベル平和賞を受賞しましたが、GLFIではこのグラミン銀行の取り組みを参考にしながらも独自のアレンジを加

え、ノウハウを積み重ねています。非常にポテンシャルの高い市場ですので、試行期間終了後は、インドネシア全土に事業展開していきたいと考えています。

※数万円程度の小規模ローンを5人くらいのグループに融資する仕組み。



サービサー事業はブルー・オーシャン攻略に向けてノウハウの蓄積に注力

Jトラストグループでは、インドネシアで不良債権の回収に特化したJTIIを設立し、BJIから不良債権を切り離して譲渡するとともに2015年11月から本格的に債権回収事業を稼働しました。日本から不良債権回収の専門家を派遣し、1年半余りにわたり不良債権の回収を行ってきましたので、順調に利益を上げる一方で現地におけるノウハウも積

み重ねてきました。

インドネシアでは、債権買取回収事業をメイン事業としている会社は見当たらないので、この市場はまさにブルー・オーシャンといえます。JTIIにおいて、ノウハウの蓄積を進め、攻略していきたいと考えています。